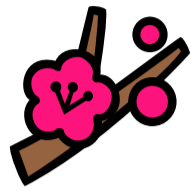


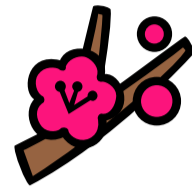
かけはし

～下志津病院ボランティア通信～

Vol. 30
18年3月



成人祝賀会



当病院では、重症心身障害児者病棟、筋ジストロフィー病棟、通園ルームと合同で毎年新しく成人を迎える人をお祝いする行事「成人祝賀会」を1月に行っています。今年は11日に行われ、筋ジストロフィー病棟2名、通園ルーム2名の方が成人を迎えました。成人者の恩師、四街道市や社会福祉協議会の職員の皆様にも来て頂き、お祝いの言葉を頂きました。また今年は、ボランティアの協力を得て、更に素晴らしい式となりました。ロビーコンサートで素敵な歌声を披露して下さった江籠沙織さんにお祝いの歌を、松本博幸さんにはビデオ撮影をして頂きました。こうしてボランティアのお力を借りることで、患者さんの生活が豊かになっていくことは本当に嬉しいことです。職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

成人された方々です！皆さん素敵です！



↑江籠沙織さんです！素敵なドレスを着て歌って頂きました！また、今回は、下志津病院で歌を歌っての感想を、お聞きしました！（下記参照）江籠さん、また素敵な歌声を聞かせて下さいね！



高橋麗衣さん



市原彰人さん

おめでとう
ございます



渡邊優子さん



廣谷 龍さん

ロビーコンサートと成人祝賀会

江籠 沙織

私が下志津病院のロビーコンサートに出演して欲しいとのお話を頂いたのは、平成16年の11月頃でした。それまでコンサートの事は知っていましたが、まさか自分がそこで歌うとは想像もしていませんでした。このお話を頂いたとき、皆さんに楽しんで頂けるようなものができるだろうかドキドキしていました。でもその心配は、たくさんの方が聴きにきて下さったことで、一気に吹き飛んでしまいました。皆さんと歌うコーナーでは、一緒に大きな声で歌い、体でリズムを取り、また鈴を鳴らすなどして、患者さん一人ひとりが思い思いの方法で楽しんでおられ、とても感動しました。また翌年の平成17年のクリスマスにもお声をかけて頂き、前年以上の感動を皆様から頂き、感謝の気持ちで一杯になりました。

そして、今年の成人祝賀会にお祝いの歌を歌って欲しいとのお話がありました。お引き受けしたものの、そんな大役が私に務まるのだろうかとても心配に思っていました。病院での成人式に参加することは初めてのことでとても緊張しましたが、心温まる祝賀会でした。胸が熱くなるシーンが多くあり、感動の連続でした。

このような感動をたくさん味わうことができ、私は幸せです。これからも歌を通して、皆さんと一緒にふれあうことが続けられるように努力していきます。コンサートや祝賀会でお世話になりました病院の皆様には、大変感謝しております。今後ともどうぞ宜しくお願いします。また皆さんと一緒に歌う日を楽しみにしております。

下志津病院ボランティア委員会発行



ボランティア講習会



2月15日に第18回ボランティア講習会が開催されました。今回は、日頃のボランティア活動の様子や内容について報告をうかがいました。重症心身障害児者病棟からは杉山豊樹さん、筋ジストロフィー病棟からは白石武夫さん、そして、今回初めて小児病棟から野口隼人さんに発表して頂きました。発表は写真を使うなどして、活動の様子をわかりやすく説明してくれました。出席者は活動している病棟以外の様子を理解することができ、会場にいた皆が興味深く聞いていました。また患者さんを代表して岡本大志さん、職員からは中田主任作業療法士に、それぞれの立場でボランティアとの関わりについて語って頂きました。

また杉山さんからは、どうしたらボランティア活動が定着していくかについて、他のボランティアの皆さんと話し合った提言（下記参照）をまとめて発表して頂きました。病院のことを真剣に考えてくださったことに感謝すると共に、提言を基にボランティアの皆さんが気持ちよく活動が続けていけるようにしていきたいと改めて思いました。

今回の講習会では、ボランティアさん、患者さん、ご家族、職員とお互いに意見を述べ、交流が深まり、有意義なものとなりました。ご協力ありがとうございました。



↑発表して下さった皆さんです。
ありがとうございました！

ボランティア活動定着に向けての提言 直接的な動機付け

- ・役に立ちたいという意欲と病棟側の要望がうまくかみ合うことを期待
- ・患者さんやご家族との気持ちの交流が図れる場を期待
- ・ボランティアが入りやすい雰囲気作り
- ・ボランティア同士ではオープンで自由な仲間意識が必要

間接的な動機付け

- ・ポスターや本紙でのボランティア受け入れのPR
- ・ロビーコンサートなどに気軽にきて頂き、病院に足を向けて頂く
- ・行事に来て頂き、職員の頑張りを実感して頂く
- ・地域行事への参加
- ・病院外での懇談会・懇親会の開催

ボランティア委員紹介



6病棟 看護師
佐藤 しおみ

6病棟の余暇活動は、パソコンを活用した娯楽や社会交流が中心です。患者さんの生活が豊かになるよう援助しています。その中で、ボランティアさんの活動が大変重要となっています。週2～3回の定期的な院内散歩、外への買い物のお手伝い、行事への参加、週2回のまごころ工房でのパソコンのお手伝いや販売、入浴日にドライヤーで髪の毛を乾かしたり、外泊時の支度など様々なところでお手伝いをして頂いております。ボランティア活動の中で最大なものは、年1回の四街道市の花火大会です。和太鼓や夜空へ瞬く大きな花火と一緒に見ている患者さんとボランティアさんの姿は印象的でした。本当にありがとうございました。患者さんの生活が快適になることは職員一同の喜びであり、感謝の気持ちで一杯です。ボランティアさんが気持ちよくいらして頂けるよう、これからもスタッフみんなで努力していきます。6病棟へ是非来てください。お待ちしております！

ボランティアオリエンテーション のお知らせ

日時 平成18年5月13日(土)

14時～16時

(受付開始 13時30分)

ボランティア希望者への説明会を行います。是非、ご参加ください。



編集後記



今回ボランティア講習会に参加して改めて感じたことは、ボランティアの皆さんが目の中の患者さんだけでなく、病院全体のボランティア活動・定着のことまでも一生懸命考えて下さっているのだなということです。本当に有り難いことだと思います。『かけはし』にも、今後ボランティアの皆さんからコラムなどたくさんのご意見を載せていきたいと思っております。これからもご協力のほど、よろしくお願い致します。

ボランティア委員会事務局 沼倉晃子